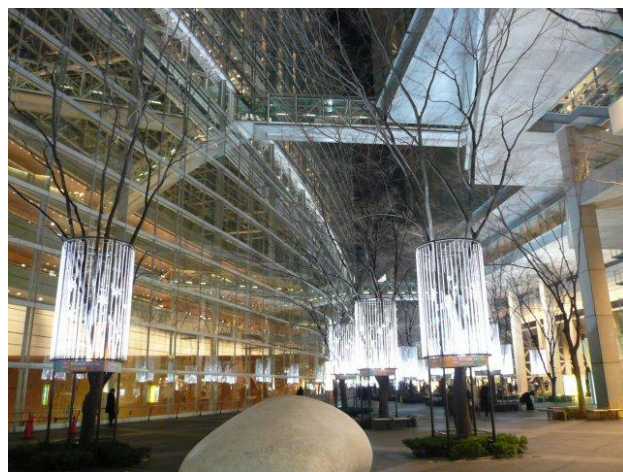


第44回公益社団法人 日本口腔インプラント学会学術大会

The 44th Annual Meeting of the Japanese Society of Oral Implantology

小澤 大輔

9月12日(金)～14日(日)の3日間,東京国際フォーラムに於いて,第44回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会が開催されました



今回の学術大会のテーマは「口腔インプラント治療の“めざす”もの - より信頼されるインプラント治療へ -」であり, 特別講演では下村博文 文部科学大臣, 樋渡啓祐 佐賀県武雄市市長, 東京医科歯科大学 宗田 大教授が登壇した。



宗田 大
東京医科歯科大学教授

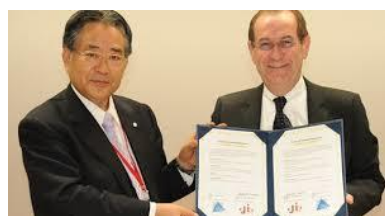


下村博文
文部科学大臣



樋渡啓祐
佐賀県武雄市市長

また, 海外からの演者として,DGIからDr. Iglhaut, Dr. Ackermann, Eastman Dental InstituteからProf. Donosが招聘され, Dr. Iglhautは軟組織, 骨の造成について, , Dr. Ackermannは無歯顎患者に対する固定性, 可撤性補綴物のあり方, Prof. Donosはインプラント周囲炎と歯周病の深い関係について講演し, 世界の開業医のレベル, ペリオの視点からのインプラントロジーを示した. 当講座からは鈴木恭典講師が「緩圧性アタッチメントを適用したインプラントサポートパーシャルデンチャーの臨床評価」という演題で一般口演にて発表した。



Dr. Ackermann



Dr. Iglhaut



Prof. Donos



鈴木恭典講師